

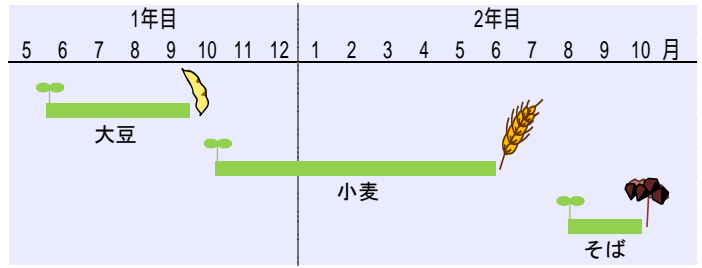
# 新規就農も支援

担い手を育成するため、20歳代から30歳代の農作業に従事する従業員を5名雇用。いずれも農業に初めて従事するため、農業機械の操作、農作業について、栽培担当理事が教えている。

1日就農体験も  
行っている。

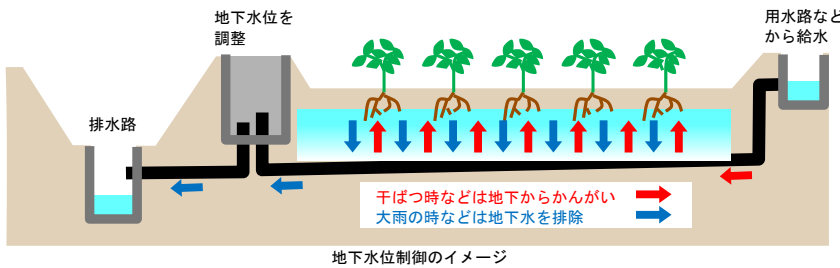


# 雪国でも2年で3作



そばの単作や大豆の連作障害を解決するため、大豆、小麦、そばの2年3作に取り組み、農地をフルに活用している。大豆の品種を早生に切り替え、播種時期を早めることなどにより、雪国でも実現可能にしている。

# 地下水位の制御で水田を畑地化



水田で畑作物（転作）を安定生産するために、地下かんがい施設を整備。これにより、排水対策と地下からのかんがいが可能となり、大雨や干ばつに対応。収量、品質、作業性がUPする。

# 各種イベントで地域活性化

- 6月上旬 紅の蔵 村木沢産フェア
- 8月中旬 枝豆もぎ取り体験  
枝豆「湯あがり娘」のもぎ取り体験
- 9月中旬 そば花祭り  
そばの開花時期に合わせて手打ちそばを食べるお祭り
- 9月下旬 枝豆もぎ取り体験  
枝豆「秘伝」のもぎ取り体験
- 10月下旬 新そば祭り
- 11月上旬 紅の蔵 村木沢産フェア
- 11月中旬 収穫感謝祭  
自然乾燥米のおにぎりと「悪戸いも」で芋煮会



枝豆もぎ取りは、500円で4kgほど取れ、毎年楽しみにしているリピーターも多い！

# 加工・販売で売上UP

6次産業化の取組として、業者に加工を委託し、そば、ラーメン、豆腐などを販売。伝統野菜の「悪戸いも」などを使った商品開発にも力を入れている。



直売所で人気の「秘伝そりそり」大豆を煎ったお菓子で、食べるとやめられなくなる味。

「そりそり」山形市周辺の方言で「サクサク」の意味。



## お問い合わせ先

農事組合法人 村木沢あじさい営農組合  
山形市大字村木沢7198-2  
TEL:023-674-7538



# 水田の畑地化

〔農〕村木沢あじさい営農組合



枝豆もぎ取り体験イベント

## 水田畑地化で 地域の農業を守る

山形市の西部に広がる農地、村木沢地区。ここに、平成18年に集落営農組織として設立し、平成25年4月に法人化された「村木沢あじさい営農組合」がある。営農組合の経営面積は約200haであり、地域農業の担い手として、さまざまな取組を行っている。

これまでに、約70haの水田に排水と地下かんがい可能な地下水位制御システムを導入（水田畑地化）し、大豆、小麦、そばの2年3作を実践。また、伝統野菜でもある「悪戸いも」（さといも）や、園芸作物の生産にも取り組んでいる。生産物は、味噌、生そば、ラーメンなどに加工し販売も行っている。

## ベストアグリ賞を受賞

その他にも、体験型の地域住民参加イベントの開催や、担い手育成に向けて二十歳代から三十歳代の農作業従事者を雇用するなど、営農組合の取組が評価され、平成25年11月に東北農政局長賞・山形県ベストアグリ賞を受賞している。



2



1

- 1 H25年春から雇用の新規就農の青年。主に機械作業に従事。
- 2 農政改変により、転作作物の作付割合の変更や、委託加工による加工品販売の強化などが必要と話す、開沼組合長。